

服用にあたって

セルトラリン錠「タナベ」を お飲みになる患者さんとご家族の方へ



選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠 25mg「タナベ」

セルトラリン錠 50mg「タナベ」

セルトラリン錠 100mg「タナベ」

塩酸セルトラリン錠

セルトラリン錠「タナベ」を お飲みになる患者さんとご家族の方へ

このおくすりの効果は？

- 飲みはじめは、すぐに効果はあらわれませんが、飲み続けると、脳内の神経伝達がスムーズになり、抑うつ気分や不安を和らげます。

注意

体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いろいろ、あせりなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

このおくすりの使い方は？

- 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

を **1日1回** 錠

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●もし飲み忘れたら !!

決して2回分を一度に飲んではいけません。気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●もし多く飲んでしまったら !!

ぼんやりする、吐き気、嘔吐、胸がドキドキする、手足のふるえ、不安、いろいろ感、興奮、めまいなどの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに受診してください。

25mg



50mg



100mg



このおくすりを使用する前に確認することは？

- 24歳以下でこのおくすりを飲んだ場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24歳以下でこのおくすりを使う人は、医師と十分に相談してください。
- 6～17歳のうつ病性障害のある人がこのおくすりを飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満のうつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

このおくすりの使用中に気をつけることは？

- うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。このおくすりを飲んでいて、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなるがあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- 不安になる、いろいろする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。このおくすりとの関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもとともある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

(裏面につづく)

このおくすりの使用中に気をつけることは？

- ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともある病気が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- 眠気、めまいなどの症状があらわれることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する時は、十分に注意してください。
- このおくすりは、自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせり、興奮しやすい、頭の痛み、吐き気などの症状があらわれることがあるので、医師の指示どおりに使用してください。
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- 授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこのおくすりを飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

このおくすりの副作用は？

下記のような症状があらわれた場合は、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

- ・ 発熱、不安、手のふるえ など〈セロトニン症候群〉
- ・ 動きがない、だんまり、筋肉のこわばり など〈悪性症候群〉
- ・ けいれん〈痙攣〉
- ・ 意識がなくなる〈昏睡〉
- ・ 皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる など〈肝機能障害〉
- ・ 意識の低下、頭痛、吐き気 など〈抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)〉
- ・ 関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水疱 など〈中毒性表皮壊死融解症(TEN)〉
- ・ 高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎 など〈皮膚粘膜眼症候群(スティーブンスジョンソン症候群)〉
- ・ しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん など〈アナフィラキシー〉
- ・ 動悸、気を失う〈QT延長〉
- ・ 意識がなくなる、動悸、息切れ など〈心室頻拍(トルサード ド ポアントを含む)〉

上記以外でも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

このおくすりの その他気をつけることは？

このおくすりの保管方法は？

- ・ 直射日光と湿気をさけて室温(1 ~ 30℃)で保管してください。
- ・ 乳幼児・小児の手の届かない所に保管してください。

おくすりが残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。





製品に関するお問い合わせ先

ニフ.オ 株式会社 医薬品情報室

 **0120-226-898**

受付時間：9時～17時15分(月～金、祝日・弊社休業日を除く)